

社員派遣による公教育への貢献 に向けた取り組みのご紹介

株式会社ダイセル
人事戦略委員会

サステナブル経営方針における人事戦略委員会の取り組み

◇サステナブル経営方針（2020年4月策定）

私たちダイセルグループは、安全・品質・コンプライアンスを最重要基盤とし、誠実さと地道な努力そして自らの変革により、サステナブルな社会の実現とダイセルの事業拡大を両立することで、基本理念を実現していきます。

基本理念

価値共創によって 人々を幸せにする会社
Sustainable Value Together

サステナブル経営方針

人々の豊かな生活を実現する新しい価値を創造し提供します

全てのステークホルダーとともに地球環境と共生する循環型プロセスを構築します

多様な社員が全員、存在感と達成感を味わいながら成長する「人間中心の経営」を進めます



Sustainable People 働く人の幸せ

多様な社員が全員、存在感と達成感を味わいながら成長する「人間中心の経営」を進めます

私は、技と心を磨き、会社という場を活用して自己実現を叶え、幸せになります。仲間と力を合わせてチームでクリエイティブな仕事をし、皆で幸せになります。そして、新しい価値を創造、提供し、豊かな社会を実現し、人々を幸せにします。

ー人事戦略委員会の取り組みー

- ゼネラリスト、年功序列志向の従来制度に代え、個人の強みに応じた多様なキャリア形成の実現と、若手抜擢・シニア活用を目的とした人事制度の検討
 - ✓ 2021年 管理職の人事制度改革
 - ✓ 2022年 組合員、継続雇用者の人事制度改革
- 社員一人ひとりが自立し、自らキャリアを考え、さらなる成長を目指せるようにする機会の場の提供
 - ✓ 2023年 社員派遣による公教育への貢献のあり方検討

公教育現場へ当社員派遣に至った背景

－外部環境分析－

- ・ 民間企業等から地方公共団体への在籍出向に関する規制緩和
- ・ 内閣府『企業版ふるさと納税』の税額控除特別措置の適用期間が令和6年度末まで延長、税の軽減効果が寄付額の最大約9割に拡大
- ・ TSMCの半導体工場が熊本に建設
- ・ 子どもの理系離れと理系人財の慢性的不足、日本の科学技術力低下
- ・ 学校における働き方改革、社会の関心度の高まり
- ・ 教師不足、地方と都市の教育格差の拡大

－内部環境分析－

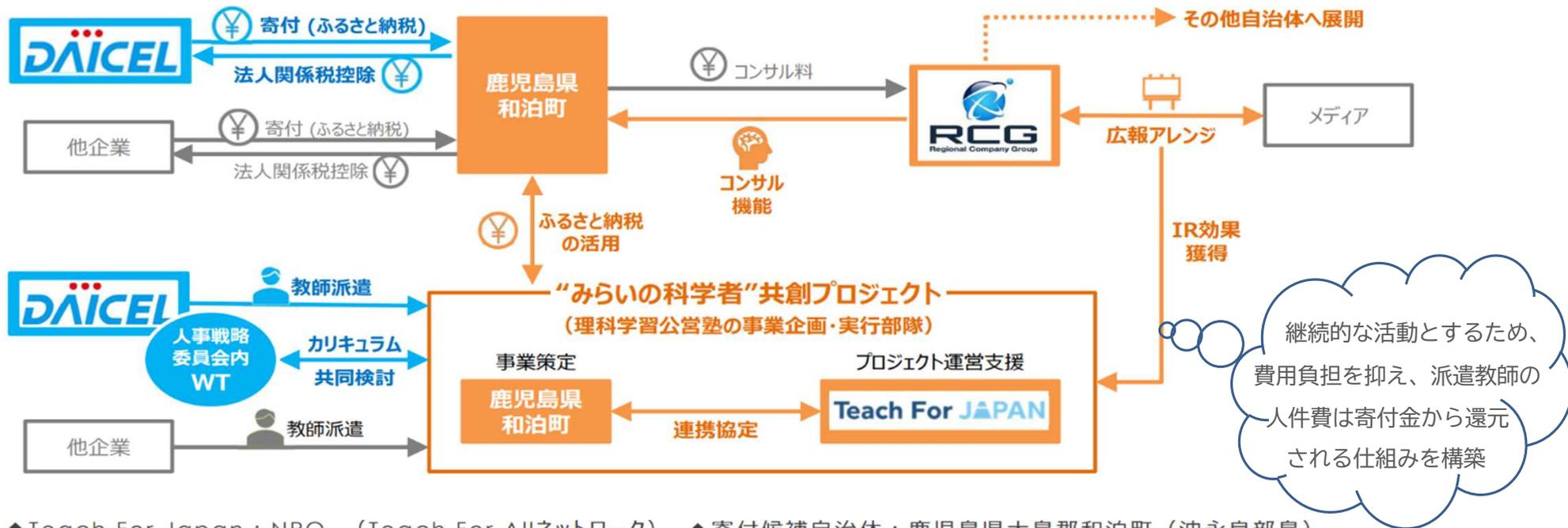
- ・ 継続雇用者（60～65歳）の全社員に占める割合が増加
- ・ 若手抜擢が進んだことによるシニア社員が活躍できる場の減少
- ・ 自身とは大きく異なる教育カリキュラムを受けた若手社員（Z世代、α世代と言われるデジタルネイティブ）へ指導の戸惑い
- ・ 人的資本経営による企業価値向上への対応（人材版伊藤レポート2.0）
- ・ 新卒採用がますます困難に
- ・ バイオマスバリューチェーン実現のための地方自治体との連携強化

事業提案の骨子（2023年3月企画会議）

教育現場の問題として深刻化している地方の学力格差拡大、特に理数系学寮の低下の歯止めに向けて、化学メーカーが自治体と手を組み活動するスキームを提案したい。内閣府が進める企業版ふるさと納税の仕組みを活用し、低リスク及び社会的波及力の高い活動を目指す。本活動を通じて、シニア層を中心とした当社社員を教師役として派遣し、全社的に教育や社会的意識向上にもつなげていく。また活動初期より同業他社にも声掛けを行い、当社単独でない企業連合での実行を目指す。

- ・ 寄付先および社員派遣先：鹿児島県沖永良部島和泊町
- ・ 期間：2023年4月より3年間（寄付金額：1.5億円）

企業版ふるさと納税制度を活用した地域貢献スキーム



- ◆ Teach For Japan : NPO (Teach For Allネットワーク)
世界61ヵ国で展開するNPO団体、教育格差や公教育システムの改革を目指し、一般社会人をフェローに育成、教育免許付与、学校や地域社会・企業との連携強化
- ◆ RCG : 地域連携、マーケティングを主にしたコンサルタント
ふるさと納税活用支援、自治体連携サポート、連携自治体発掘、活動情宣、PJ運営

- ◆ 寄付候補自治体 : 鹿児島県大島郡和泊町 (沖永良部島)
人口 : 6,100人 (沖永良部全体 : 約12,000人)
児童数 : 小中合計約600名 (同 : 約1,300人)
自治体目標 : 安心・夢・ゆとりのある子育て環境づくりを目指す事業



継続的な活動とするため、費用負担を抑え、派遣教師の人員費は寄付金から還元される仕組みを構築

鹿児島県沖永良部島和泊町での活動実績

■ 2023年

・ 8月22日～24日 ワクワク理科実験

・ 12月10日 プラスチックについて学ぼう！サステナラボ

■ 2024年

・ 2月20日、21日 和泊町の小学校・中学校の計6校での半導体授業

・ 4月1日～ 理科実験補助員、公営塾講師として社員派遣



取組内容①：ワクワク理科実験（概要）

■日時：2023年8月22日～24日

■対象：小学校3年生～6年生の31名参加

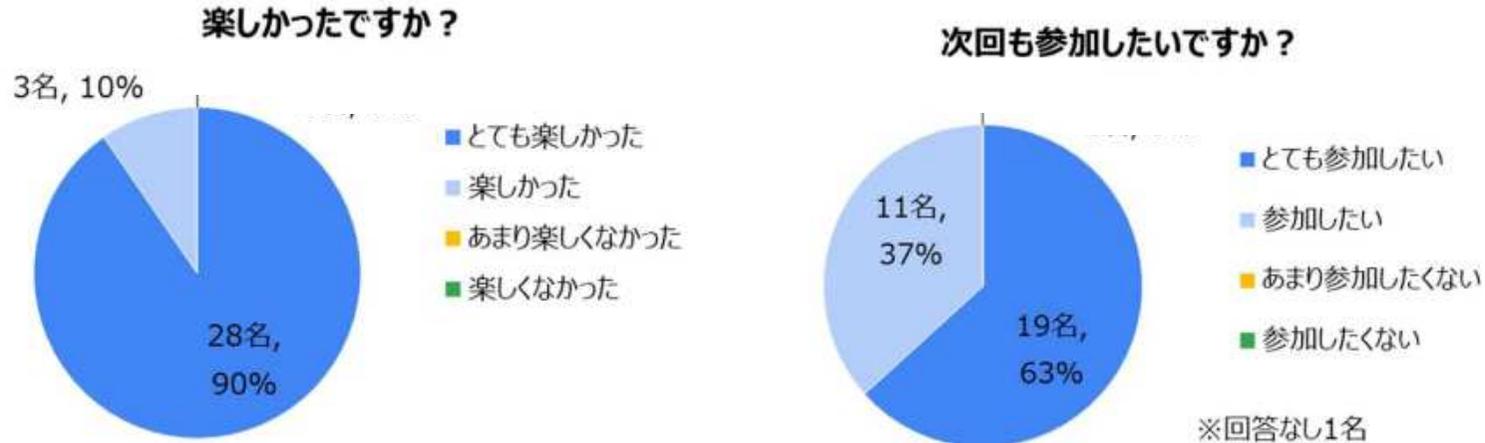
■内容：ワクワク理科実験

沖永良部島特産の島レモンからフレグランス成分の抽出や砂浜から採取した砂の中からマイクロプラスチックを採取するなど、化学の面白さを感じながら環境問題について考えるイベントを開催



取組内容①：ワクワク理科実験（事後アンケート結果）

■実施後アンケート（参加小学生）



■実施後アンケート（保護者）

- 勉強が嫌いなタイプで、理科とかは特に苦手分野でしたが、家に帰ってきてから、とても楽しかったと言っていました。
- 帰る車の中で実験の事をいっぱい話してくれました いつもは聞いた事にしか話さないのによほど楽しかったようでした ありがとうございます。
- フレグランスなんて子供は興味ないけど…と思いながらも申し込みしたのですがとっても楽しかったようで抽出方など話してくれました 出来たフレグランス も部屋にスプレーして使っています。
- このような理科実験は、大変良いとおもいます。来年は、更に参加者が増えると思います。

取組内容②：和泊町の小学校・中学校の計6校での半導体授業

■日時：2024年12月10日

■対象：和泊町の小学校、中学校の6校

■内容：半導体授業

研究開発本部無機複合実装研究所顧問、シニアフェロー菅沼克昭（大阪大学 産業科学研究所長 特任教授）による小学校、中学校で半導体の役割や、基本的な知識を分かりやすく解説

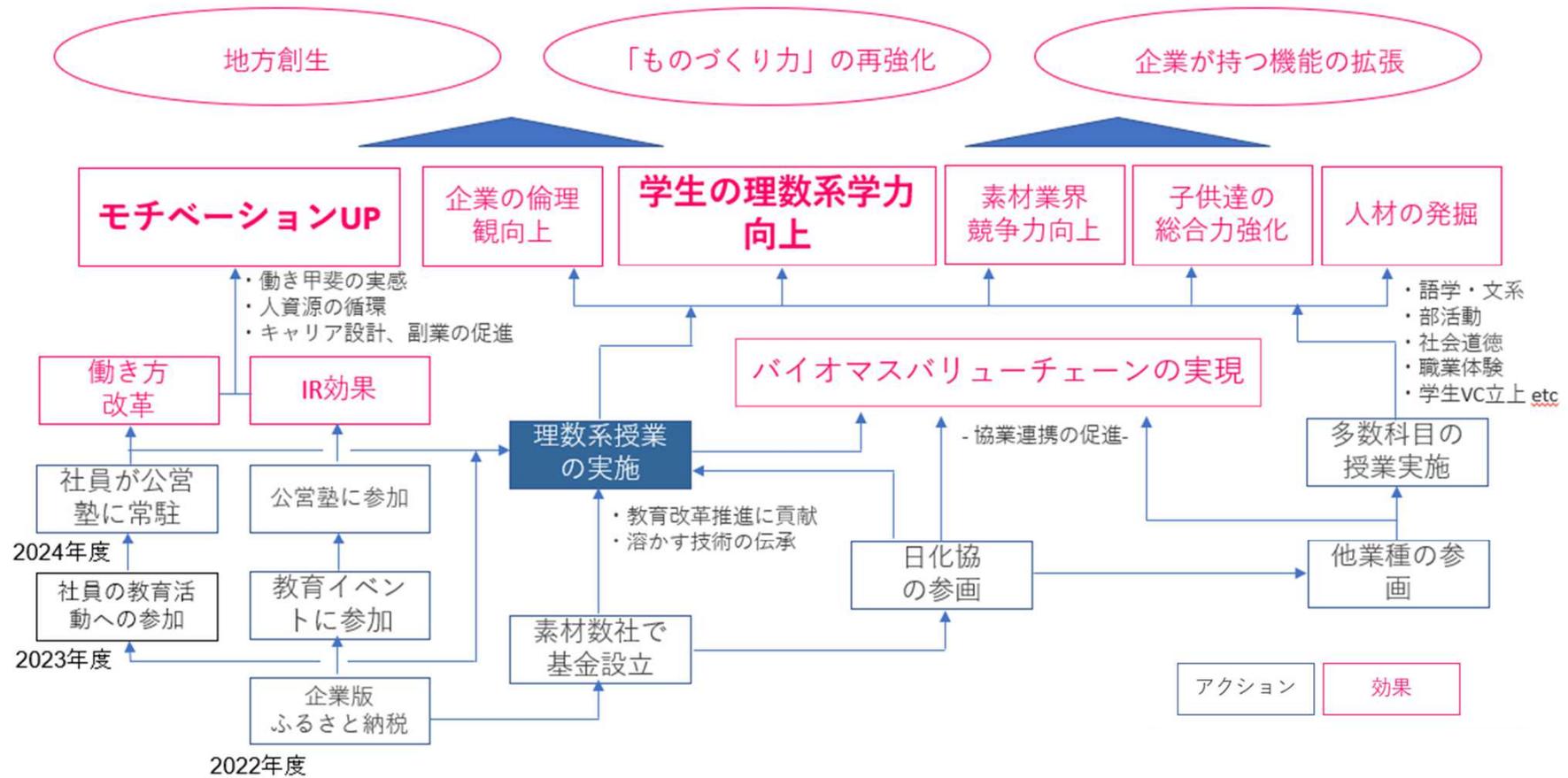


取組内容紹介③：理科実験補助員、公営塾講師として社員派遣

項目	内容
派遣期間	2024年4月1日～2025年3月31日（予定） ※事前にTeach for Japanによる研修の受講が必須
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習支援員(主に実験担当) 中学生(合計約40名：1学年は10名前後)を対象に週14時間対応 ※空き時間はダイセルの業務を実施可能 ※夏・冬休みはダイセルの業務中心で問題ないが、夏休みイベントは担当 ・公営塾の講師 放課後に子どもが持ち寄る宿題のフォローが主体 ※数学、英語対応の塾や予備校はあるが、科学の学力向上をサポートする施設はない
選考のプロセス	<p>①当社の掲示板に55歳以上の社員と対象とした理科実験補助員、公営塾講師募集の案内を掲示 →8名の社員から応募あり（説明会には19名が参加）</p> <p>②人事戦略委員会メンバーにて志望理由やこれまでのキャリア、専門性の確認のための面接 →『新しいチャレンジ』や『社会課題への貢献』に対する熱い想いを説明する社員が多数</p> <p>③経営会議決裁 →64歳の社員（教員免許取得者）を1年間の予定で派遣決定、4月1日に着任済</p>



まとめ：ダイセルの狙い



『Speed』『Smooth』『Synergy』をキーワードに、ご協力いただける自治体を募集しています！

DAICEL